

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和元年 12 月
海老名市立大谷小学校**

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

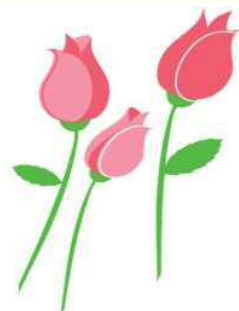
- (1) 教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 書かれている文章の内容やそこで用いられている図表やグラフなどの意味を、的確に読み取るとともに、自分の考えを明確にすることができている。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認するために質問をしたり考えをまとめたりすることができている。

◆課題のある点

- 漢字の意味を正確に理解したり習った漢字を文章の中で正しく使ったりすることに課題がある。
- 文章をまとめる際に、筋道を立てて書くことに課題がある。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 習った漢字を文章の中で正しく使えるようにするために、文などを書く際には、国語辞典を活用しながら、積極的に漢字を使うように指導します。
- 筋道を立てた文章が書けるように、主語と述語の関係や前後の文のつながりを意識しながら文章を書いたり、書いた文章を読み直して推敲したりする学習を積み重ねていきます。
- 相手が話している内容や書かれている文章の意味を正確に理解するとともに、自分の考えを的確に表現できるように、対話をもとに考えが深められる学習を積み重ねていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 二つのグラフに示された意味を正確に理解するとともに、それらを関連付けて読み取れることを言葉や数を用いて、説明することができている。
- 遊園地での待ち時間を考える設問では、示された場面の状況から必要な情報を取り上げ、所要時間の求め方と答えを言葉や式を用いて説明することができている。

◆課題のある点

- わり算の式の意味を理解し、わられる数とわる数に同じ数をかけたりわったりしても商は変わらないという性質を活用して商を求めることに課題がある。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 式の意味やきまりを理解できるように、立式した理由や問題を解く過程等について、児童自らが説明する場面を授業の中で取り入れていきます。
- 課題を自立的かつ協働的に解決できるように、一人一人が考える場面と他者とともに考えを深める場面を授業の中で取り入れていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 88%の児童が「授業で学んだことをほかの学習に生かしている」と答えている。
- 86%の児童が「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と思っている。
- 「解答時間が足りなかった」と答えている児童が 48%いるが、82%の児童は最後まで解答しようと努力していた。

◆本校の課題と思われるところ

- 「算数の授業が将来役に立つ」と思う児童が 97%いるのに対して、「算数の勉強が好き」という児童が 69%にとどまっている。

生活について

◆本校のよかったところ

- 100%の児童が「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないこと」「人の役に立つ人間になりたい」と答え、規範意識の高さがうかがえる。
- 95%の児童が「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答え、基本的生活習慣が身についている。
- 96%の児童が「学校に行くのは楽しい」と思っている。

◆本校の課題と思われるところ

- 「地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童が少ない傾向にある。

今後の具体的な取組について

- 学習や生活において、多くの望ましい態度や行動が見られることは本校児童の大きな特長です。各ご家庭の養育が、大きく影響しているものと考えられます。学校においても、児童一人一人を理解し、支援しながら、よりよい体験を積み上げていけるように指導・支援に努めていきます。
- 本校では、「対話をもとに一人一人が考えを深める」ことを重視した道徳の研究に取り組んでいます。今後も深く考え、学び合う活動を通して、自ら学ぶ意欲を持ち、自分の考えを表現する児童の育成に努めます。
- 地域と学校の関わりについては、総合的な学習の時間や生活科等で、多くの方々のご支援をいただきながら学習を進めています。地域の方々に支えられて生活していることを知り、感謝の気持ちが持てる児童を育成していきます。

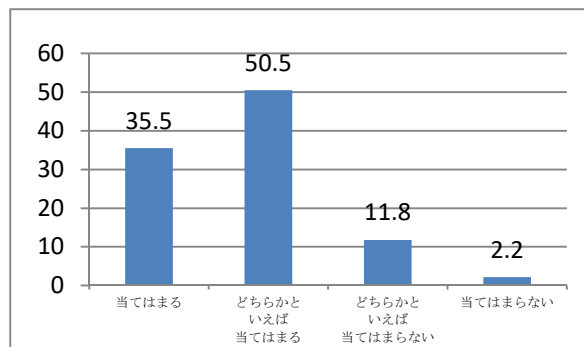
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

ほめることを大切にしましょう

よいところや頑張ったところを積極的に認め、ほめることが、子どもたちの自己肯定感を高めることにつながります。

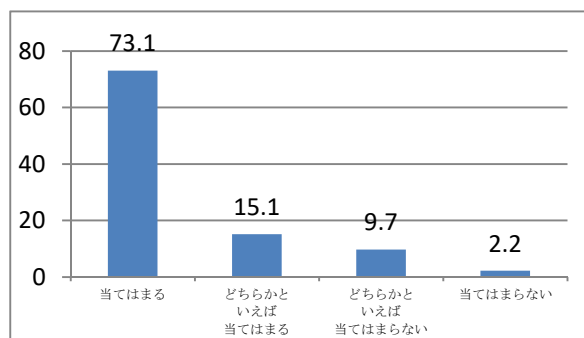


自分には、よいところがあると思いますか

2

将来の夢や目標を応援しましょう

将来の夢や目標を認め、励ましの声をかけることが、意欲をもって学習に取り組むことにつながります。

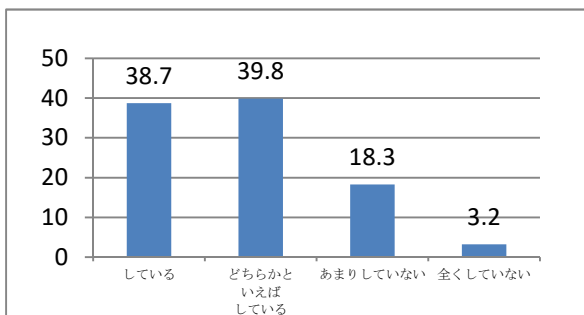


将来の夢や目標は持っていますか

3

自分で計画を立てて、学習に取り組みましょう。

「10分×学年」の時間をめやすに、計画を立て、見通しをもって家庭学習に取り組むことが、進んで学ぶ姿勢を身に付けることにつながります。



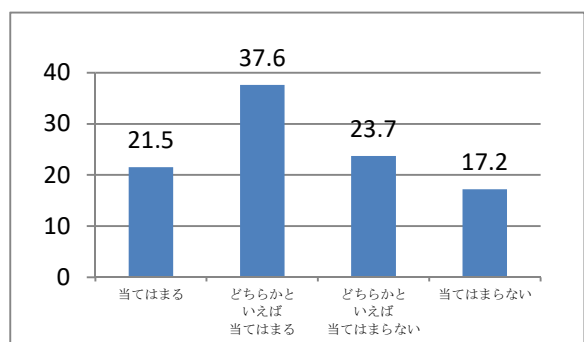
家で自分で計画を立てて勉強していますか

4

地域の行事に積極的に参加しましょう。

地域の行事に参加し、地域の方と交流の輪を広げましょう。

国の調査では、地域の行事に積極的に参加している児童の方が、教科の平均正答率が高いという結果が出ています。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

